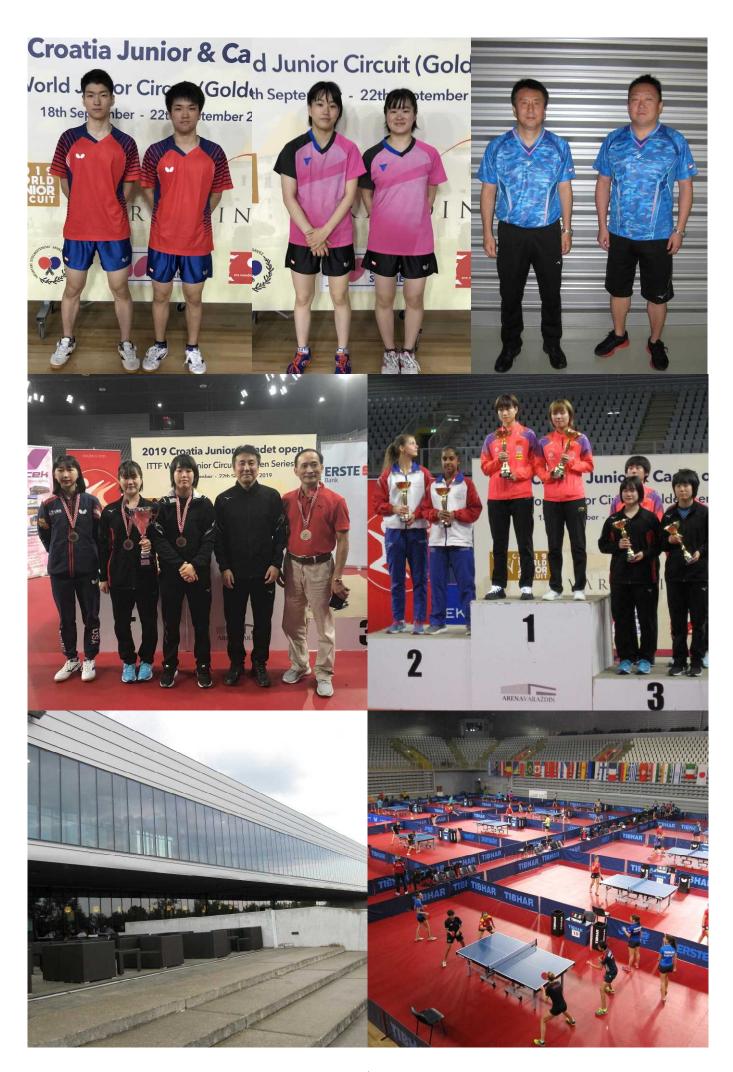
報告書

2019

ITTFジュニアサーキット・クロアチアオープン 2019/9/18~22



主催(公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部





令和元年度 全国高体連卓球専門部海外遠征 [ITTF ジュニアサーキットゴールド・クロアチアオープン]

1. 大会名 2019 ITTF ジュニアサーキットゴールド・クロアチアオープン

2. 期 日 令和元年9月14日(土)~9月24日(火)

(1) 大会 令和元年9月18日(水)~9月22日(日)

(2) 集合 成田空港 9月14日(土) 8:10

役員 9月13日(金)15:00

前泊者 9月13日(金)17:00 成田東武エアポートホテル)

(3)解散 成田空港 9月24日(火)14:00

3. 会 場 GRADSKA SPORTSKA DVORANA "ARENA" VARAŽDIN Šetalište Dr. Franje Tuđmana 1 42000 Varaždin

TEL + 385 1 42 659 125

4 宿 泊 先 ドイツ: Hotel Stadt Muenchen クロアチア: 未定

5. 日 程 *日程ついては変更が生じる場合があります。

日数	月/日	時間	日程等
1	9/13(金)	17:00	前泊者集合(成田東部エアポートホテル)
2	9/14(土)	8:50	成田空港集合
		10:50	成田発 NH-209 便 デュッセルドルフ 15:50 着
		15:50	デュッセルドルフ市内ホテルまで移動・泊
3	9/15(日)		ドイツクラブにて2日間事前合宿
4	~16(月)		デュッセルドルフ泊
5	9/17(火)	8:00	デュッセルドルフ発 EW9900 便 ザグレブ 10:10 着
			ヴァラジュディンまで車で移動(協会手配)
6	9/18(水)		大会 種目 ダブルス・シングルス・団体
~10	~22(日)		
11	9/23(月)	15:25	ザグレブ発 OS-684 便 ウィーン 16:15 着
		17:45	ウィーン発 OS-51 便
12	9/24(火)	11:55	成田空港着
		14:00	解団式、解散

6. 役員·選手名簿

役 職	氏	名	所 属	備考
団長/女子監督	宗片	信一	(公財)全国高体連卓球専門部	青森県:青森商業
男子監督	植木	大	(公財)全国高体連卓球専門部	石川県:遊学館
男子選手	佐藤	祐人	山形県:鶴岡東高等学校	タイジュニア選出
为丁迭十	阿部	悠人	福岡県:希望が丘高等学校	ベトナム選出
ナフ.超子	稲吉	美沙	福岡県:希望が丘高等学校	タイジュニア選出
女子選手	杉田	陽南	大阪府:香ヶ丘リベルテ高等学校	ベトナム選出

〈ジュニア男子団体 予選リーグ〉

日本/ドイツ混成チーム 3-0 カナダ/アメリカ混成チーム ●準々決勝

佐藤祐人	3	11-1 11-7 12-10	0	TRAN Michael Minh
阿部悠人	3	11-9 11-9 11-3	0	LY Edward
JONACK Dominik	3	11-7 13-11 11-9	0	ZAREHBIN Kai

日本/ドイツ混成チーム 3-1 ベルギー

佐藤祐人	3	7-11 11-7 11-9 11-8	1	RASSENFOSSE Adrien
阿部悠人	3	11-7 11-6 6-11 6-11 11-8	2	KOSOLOSKY Olav
JONACK Dominik	2	9-11 11-5 5-11 11-8 6-11	3	DEGROS Nicolas
阿部悠人	3	11-4 11-9 11-9	0	RASSENFOSSE Adrien

日本/ドイツ混成チーム 3-1 ルーマニアA

佐藤祐人	1	11-6 11-13 10-12 9-11	3	MOVILEANU Darius
阿部悠人	3	11-6 11-9 11-7	0	TOMICA Andrei
JONACK Dominik	3	11-4 11-9 11-7	0	CHIRITA Iulian
阿部悠人	3	11-5 11-4 11-9	0	MOVILEANU Darius

〈ジュニア男子ダブルス トーナメント〉

●1回戦

<u> </u>				
		10-12		
阿部悠人	2	11-5	4	REDZIMSKI Milosz/
佐藤祐人	3	11-8		ZALEWSKI Mateusz
		11-8		(ポーランド)

●2回戦

<u>- </u>				
阿部悠人		9-11		全開源/
佐藤祐人	0	10-12	3	熊夢陽
		5-11		(中国)

〈ジュニア男子団体 決勝トーナメント〉

日本/ドイツ混成チーム 2-3 中国B

<u> </u>	1 .	一ノルの		女 2 0 中国D
佐藤祐人	0	7–11 11–13	3	牛冠凱
		5-11		
		11-8		
		8-11		
阿部悠人	3	11-4	2	楊曲隆
		5-11		
		11-7		
		14-12		
JONACK	3	11-5	1	熊夢陽
Dominik		8-11		
		11-8		
		11-13		
		11-6		
阿部悠人	2	7–11	3	牛冠凱
		11-5		
		11-13		
佐藤祐人		8-11		
	1	11-3	3	楊曲隆
		14-16		
		6-11		

〈ジュニア男子シングルス 予選リーグ〉

阿部悠人	3	11-4 11-4 11-8	0	CARLSSON Charlie (スウェーデン)
阿部悠人	3	11-8 11-2 8-11 11-7	1	MOULLET Barish (スイス)
阿部悠人	3	11-7 11-8 11-7	0	SAADAWI Ahmed (カタール)
佐藤祐人	3	11-3 11-9 12-10	0	ONDERKA Frantisek (チェコ)
佐藤祐人	0	3-11 10-12 9-11	3	張佑安 (チャイニーズタイペイ)
佐藤祐人	0	7-11 10-12 5-11	3	張明昊 (中国)

〈ジュニア男子シングルス 決勝トーナメント〉

●1回戦

		9-11		带充法
阿部悠人	0	5-11 5-11	4	曹彦涛 (中国)
		11-13		

〈ジュニア女子団体 予選リーグ〉

日本/アメリカ混成チーム 3-0 クロアチアC

		11-9					
稲吉美沙	3	11-4	0	GRGIC Ivana			
		11-6					
		11-2					
杉田陽南	3	11-4	0	MATIJASEC Janja			
		11-4					
		11-7					
KE Tiffany	3	11-6	0	BRNIC Lea			
		11-3					
日本/アメリカ	混	成チーム	3	-1 チャイニーズタイペイA			

稲吉美沙	3	10-12 12-10 2-11 11-3 11-1	2	許伊宸
杉田陽南	3	11-2 11-5 11-6	0	李婉瑄
KE Tiffany	2	14-12 11-7 5-11 5-11 10-12	3	CHEN Yi-Chien
杉田陽南	3	11-8 11-7 11-6	0	許伊宸

日本/アメリカ混成チーム 3-2 ロシアA

稲吉美沙	2	6-11 11-7 11-7 9-11	3	ZIRONOVA Ekaterina
杉田陽南	3	9-11 11-6 9-11 11-9 11-8	1	ABRAAMIAN Elizabet
KE Tiffany	0	9-11 6-11 4-11	3	MALININA Natalia
杉田陽南	3	16-18 11-8 10-12 12-10 11-4	2	ZIRONOVA Ekaterina
稲吉美沙	3	10-12 11-4 11-9 11-5	1	ABRAAMIAN Elizabet

〈ジュニア女子団体 決勝トーナメント〉

●準々決勝

日本/アメリカ混成チーム 3-1 韓国/ルクセンブルク混成チーム

ロインノンフルル	· /		77	国/ルグピングルグに成り ム
		11-6		
 稲吉美沙		8-11	3	AN Savaan
他口天沙 	1	4-11	S	AN Soyeon
		4-11		
		11-8		
 杉田陽南	3	11-6	1	KIM Jimin
炒四汤用 	٥	9-11	'	MINI OILIILI
		12-10		
		9-11		
KE Tiffany	3	11-7	1	NI Xiaojing
NE Illiany	٥	11-7	1	INI Alaojing
		11-7		
		9-11		
杉田陽南		11-5	1	AN Sayaan
が四物門	3	11-3	'	AN Soyeon
		11-5		
- 244 N ENV				•

●準決勝

日本/アメリカ混成チーム 1-3 ルーマニアA

稲吉美沙	0	8-11 10-12 5-11	3	PLAIAN Tania
杉田陽南	3	7-11 4-11 11-3 11-8 11-5	2	ZAHARIA Elena
KE Tiffany	1	13-11 1-11 9-11 5-11	3	URITU Denisa
杉田陽南	2	11-6 11-5 7-11 7-11 5-11	3	PLAIAN Tania

〈ジュニア女子シングルス 予選リーグ〉

				/// J & / /
		11-6		PEKOVA Zuzana
杉田陽南	3	11-5	0	(スロバキア)
		11-4		
		11-5		DANILOVA Vasilisa
杉田陽南	3	11-5	0	(ロシア)
		11-3		
		11-7		URITU Denisa
杉田陽南	3	11-4	0	(ルーマニア)
		11-3		
		11-9		KAMBLE Tejal Jayant
稲吉美沙	3	11-3	0	(インド)
		11-5		
		11-8		ALKHOUSKAYA Ulyana
 稲吉美沙	3	9-11	1	(ベラルーシ)
個口天沙	J	11-5	'	
		11-8		
		11-7		MATIJASEC Janja
稲吉美沙	3	11-4	0	(クロアチア)
		11-5		

〈ジュニア女子シングルス 決勝トーナメント〉

●1回戦

		14-12		
		11-5		
		9-11		
稲吉美沙	4	9-11	3	ZAHARIA Elena
		11-13		(ルーマニア)
		11-9		
		11-6		
		11-6		
杉田陽南	,	11-6	0	BARDAC Klara
が四物用	4	11-3	U	(クロアチア)
		11-2		

●2回戦

		7-11		
		11-8		
稲吉美沙	4	11-7	1	BONDAREVA Anastasia
		11-9		(ドイツ)
		11-9		
		11-8		
トレック おおり おおり おいま おまま おまま おまま おまま おまま おまま おまま おまま おまま	4	16-14	0	ZIRONOVA Ekaterina
が田崎田	4	11-4	U	(ロシア)
		11-8		

●3回戦

		5-11		
		11-8		
稲吉美沙	1	8-11	4	袁媛
		11-13		(中国)
		9-11		
		9-11		
		11-8		
杉田陽南	1	8-11	4	呉洋晨
		9-11		(中国)
		9-11		

〈ジュニア女子ダブルス トーナメント〉

●1回戦

稲吉美沙		11-5		ALVIZ Gabrijela
杉田陽南	3	13-11	0	ILIC Zara
		11-3		(クロアチア)

●2回戦

稲吉美沙		11-5		BERESNEVA Anastasiia
杉田陽南	3	11-2	0	SIZOVA Anastasia
		11-2		(ロシア)

●3回戦

		12-10		
稲吉美沙	2	11-5	4	SINGEORZAN Ioana
杉田陽南	J	10-12	'	TOLGYES Dorottya
		11-5		(ルーマニア/ハンガリー)

●準々決勝

稲吉美沙		11-8		PLAIAN Tania
杉田陽南	3	11-8	0	ZAHARIA Elena
		15-13		(ルーマニア)

●準決勝

稲吉美沙 杉田陽南	0	9-11 7-11	3	呉洋晨 臧小桐
		4-11		(中国)

団長兼女子監督 全国高体連卓球専門部 宗片 信一

今回の遠征は、全国高等学校体育連盟卓球専門部の新しい強化事業として実施されたものでした。長年にわたり全国の指導者から、選手に海外遠征の機会を多く与えてほしいという希望に対して実現したものです。また、頑張っている高体連所属の選手が、努力次第ではジュニアナショナルチームの選手が出場しているような大会に参加し、いろいろな経験を積めるようにしたものです。ただ、今年は予算の関係もあり、男女各2名の選手と監督2名によってチーム編成されました。今後、選手派遣に関しては多くのチャンスを与えていけるようにしていきたいと思っています。

さて、クロアチアは自然が豊かで緑が多くきれいな街でした。時期的にも温暖で過ごしやすい気候でした。 クロアチアやドイツの人たちは、非常に礼儀正しく親切な国民であると感じました。日本とは時差が7時間 あるということで、選手の体調管理には気を使いました。そのため試合直前にドイツでミニ合宿を入れ、コ ンディションを調整しました。練習環境や心配していた食事なども問題はありませんでした。結果的に体調 を崩した選手もなく、日本チームはベストの状態で大会に臨めたことは大変良かった点です。

私は団長兼女子監督として参加し、女子ダブルスと女子団体で3位に入賞することができました。優勝を 目標に接戦をものにしながら勝ち進んでいきましたが、団体・ダブルス共に準決勝敗退となりました。

試合を振り返ると、稲吉選手は前陣でボールをうまくさばきながらの速攻を武器に得点していました。杉田選手はヨーロッパ選手にも引けを取らない前中陣でのドライブラリーやサービスを有効に使った攻めでポイントを重ねているところが目立ちました。これらの試合から改めて感じたことがあります。それは、慣れていない相手と対戦した時にラリー重視で安定して得点することは難しく、前陣での早い攻めやサービス力による有利な展開からの攻めが非常に有効だということです。サービスの重要性を再認識し、もっと指導の中に取り入れていくことが必要であると感じました。また、サービスと同時にレシーブでの失点を減らし、如何にレシーブから得点に結びつけられるかがポイントになります。女子シングルスはベスト8決定で二人とも中国の選手に敗退しましたが、迷いやちょっとしたミスによるもので、実力差は大きいわけではなく、勝つチャンスは十分にあったと感じられる試合内容でした。今後は自分の戦型を確立し、もっと自分の卓球の特長(得意な技術)をどんな相手にも出していくことが必要であると感じました。

最後になりますが、今回クロアチアジュニアサーキットに団長兼女子監督として参加させていただき大変 感謝しております。大会参加に際し手続き等をしていただいた公益財団法人日本卓球協会の皆様、男子監督 として参加してくれた植木先生など、その他多くの方々にサポート頂きましたことに対しこの場をお借りし て厚く御礼申し上げる次第です。この遠征で経験したことを今後の事業に活かしていきたいと思っています。

男子監督 遊学館 植木 大

強化委員会として、高体連の選手に海外試合の経験をさせてあげたいという思いから、以前から参加しているベトナムゴールデンラケット大会、ジュニアサーキットタイオープン大会の上位成績を残した男女各2名の選手をクロアチアのジュニアサーキットへ参加させることができました。これは強化委員会の念願でもあったので、認めていただいた全国高体連卓球専門部に感謝申し上げます。ありがとうございます。

クロアチアジュニアでは宗片強化委員長と参加させていただきました。時差調整でドイツにて合宿を実施 しました。大会前に普段かかわっていない選手とコミュニケーションがとれたことは良かったと思います。

合宿後,クロアチアへ移動し大会参加となりました。大会は中国も参加しており,レベルの高い試合も多く貴重な経験となったと思います。

私が担当した男子チームは、残念ながら優勝した中国チームにあと一歩のところで敗戦しました。私の力不足で負けてしまい、選手には勝たせてあげたかったです。

個人戦においても、中国の壁が厚く結果を残すことが出来ませんでした。しかしながら、各選手とも手ごたえはあったのではないかと思います。選手たちには、この経験を生かして成長して欲しいです。

環境においては、治安も良く、引率していても安全だと思います。宿舎から会場までも近く、食事も困らないので、コンディション的にはストレスなく試合に集中できたと思います。ぜひ、来年度以降も継続して選手たちにチャンスを与えていただきたいです。

今後は、若い指導者にも積極的に参加して欲しいと思います。私自身、若い時期に色々な経験や諸先輩方のアドバイスをいただき、成長させていただきました。指導者は日々勉強だと思います。ぜひ色々な機会に遠慮せずに挑戦して欲しいと思います。最後に、機会を与えていただいた全国高体連卓球専門部、関係先生方に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

鶴岡東 佐藤 祐人

この度は海外遠征に行かせて頂きありがとうございました。自分自身2度目の海外遠征となりましたが、自分の卓球人生の中でとても貴重な時間と経験になったと思います。シングルスは予選リーグ敗退、ダブルスは2回戦敗退、団体戦は準々決勝において自分が2点落としてしまったことでベスト8に終わってしまったこととても悔しく思います。

今大会を通して自分と海外選手との差は,攻撃に入る1球目の質と相手に攻撃された時の守備力だと感じました。

まず、攻撃の1球目の質というのは台上からの攻撃やツッツキ打ち、台から出るか出ないかのハーフロングなどです。海外選手はそのようなボールに対し、しっかりと回転をかけ、コースも打ち分けているのに対し、自分は回転量が少なく、コースも甘くなってしまうことが多くありました。相手が強ければ強いほど質の高い攻撃をしないとカウンターで逆に狙われてしまいます。自分の場合、特に攻撃に入る1球目の質が低いため攻めたはずが劣勢に立たされてしまうことが多かったです。

次に守備力に関しては、試合中に何度も植木監督からアドバイス頂きました。特にバックサイドに攻撃された時に、台との距離がとても遠く、ボールと自分の距離も遠くなっていたため、ブロックやカウンターをしようとした時に体制が悪くなってしまいました。海外選手のプレーを見ると打たれても体制を崩さず、自分のベストなポジションで返球していました。自分の場合は下がりすぎてしまうクセがありました。

今回の海外遠征では、自分の試合の中からだけでなく、他の選手のプレーを見てたくさん勉強することができました。この経験をこれからの練習や試合に活かして、大会で活躍できる選手になれるように日々努力していきます。この度は本当にありがとうございました。

希望が丘 阿部 悠人

今回はドイツ合宿,クロアチアオープンに参加させて頂きました。ヨーロッパに行くのは初めてで、卓球は もちろん、建物や文化の違いなども学ぶことができ、とても良い経験をすることが出来ました。

ドイツのデュッセルドルフの合宿では、ブンデスリーグのホームマッチで使われる会場をみたり、トップ選手の練習風景など見ることが出来ました。自分達の練習場との大きな違いは全ての床に赤いマットが敷かれており、ジュニアサーキットやプロツアー、そしてその他の大きな大会に似せたような環境となっていました。そこでドイツのユースの人達と練習が出来たのはとても良い経験になりました。練習での日本との違いは、練習前のストレッチからあまり見慣ないストレッチやウォーミングアップを入念に30分以上をかけて始まり、フットワーク練習ではブロックする側も動いたり、少しラリーが続いたら、すぐ違うコースに打ってからオールの練習など、自分があまり練習していないような難しい練習ばかりでした。ドイツの人達はそれぞれの個性があり、その分やりずらさもありました。日本人ではあまり見られないスタイルの人などと練習をさせてもらい、自分にとっては対応力が身につくとてもいい練習になりました。

そしてクロアチアオープンでは、シングルスのリーグ戦を1位で通過しトーナメント2回戦目で中国選手に 敗れ、ダブルスでもトーナメント2回戦目で中国ペアに敗れ、そして最後も団体戦で日本とドイツの合同チームで中国チームに敗れました。全種目とも中国に敗れたのはとても悔しかったです。ただドイツでの合宿でヨーロッパ選手の人達と練習ができたおかげでヨーロッパ選手のパワーや癖にはすぐ対応ができ、団体戦でのベルギー戦では選手達がU18での世界ランキングがとても高く、苦戦する相手になると思われましたが、佐藤選手が1本を取り、自分が2本を取り勝つことができ、とても嬉しかったです。

全種目とも中国に負けたというのがとても悔しいですが,自分にとってはなかなか経験の出来ないことができ,とても充実した遠征になりました。これからもこの経験を活かして,海外の大会に出られるように国内で成績を残し,中国の選手に勝てるように頑張っていきます。今回の遠征の監督をして頂いた宗片監督,植木監督,そしてこの遠征を企画して頂いた高体連の皆様,本当にありがとうございました。

この度,ジュニアサーキットクロアチア大会に参加させて頂きありがとうごさいました。さらに,大会前にはドイツのデュッセルドルフで事前合宿を2日間行わせて頂き,とても良い調整期間となりました。今回の成績は,ダブルス3位,団体3位,シングルスベスト16でした。

まず初めはシングルスとダブルスでした。シングルスの予選リーグではインドの選手に3-0, クロアチアの選手に3-0, ベラルーシの選手に3-1で勝ち,予選を突破しました。ベラルーシの選手はカットマンでしたが,変化に対応して我慢する事が出来た事が勝因だと思いました。決勝トーナメント1回戦はルーマニアの選手で,一度対戦経験のある選手でした。結果は4-3で,1, 2ゲーム目は連取しましたが,3ゲーム目から相手はレシーブをしっかり対応してきてサーブにも変化を付けられるようになり,そのまま3, 4, 5セット目を取られてしまいました。しかし,後が無くなった自分は何としても勝ちたいという思いで,とにかく粘り続けて両者ともに譲らない展開になりました。そして,最後まで冷静に戦った結果,見事勝利する事が出来ました。2回戦ではドイツの選手に4-1で勝ちました。ここでも我慢強さを見せる事ができ,相手のミスを誘う事が出来たと思います。3回戦では中国選手と対戦しましたが,1-4で敗れてしまいました。中盤まではお互いラリー戦の連続で譲らなかったのですが,最後は中国選手の最大の強さで押し切られました。シングルスで感じた事は,レベルが上がれば上がる程,技術的な面では全員同等なので,どれだけ我慢して押し切るかが大切なんだと感じさせられました。

ダブルスでは香ケ丘リベルテの杉田さんと組ませて頂き、見事3位に入賞する事が出来ました。自分の良さを引き出しやすく、コンビネーションも良かったので楽しく伸び伸びとプレイが出来ました。団体戦ではアメリカの選手とミックスチームを組み、国際交流もする事が出来ました。リーグのロシア戦では初めての経験でしたが2-2で5番が自分に回ってきました。そしてチーム全員の応援のお陰で3-1で勝つことが出来ました。これは今後にも繋がる自分にとって1番の経験となりました。最終結果は3位でしたが、全員で勝ち取った最高のものだったと思います。

今回の遠征を通して、メンタルや卓球技術、国際交流によるコミュニケーション能力の向上など様々な力を つける事が出来ました。監督さんを初め、この遠征関係者の皆様、このような経験をさせて頂き本当にありが とうございました。

香ケ丘リベルテ 杉田 陽南

今回は、このような貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。ヨーロッパへの遠征は初めてで、不安な所もありました。しかし、先生方をはじめ、いろいろな方の支えがあって、試合では自分の力を出すことが出来ました。

ドイツでの事前合宿では、ドイツのボルシア・ドュッセルドルフで練習をさせて頂きました。まず、練習場に驚きました。床はマットで天井も高く、後ろも広かったのですが、体育館の数も5個くらいありました。練習は、プロの選手やドイツのユースの選手とさせて頂くことが出来ました。ラリーのレベルが高くて、サーブレシーブの大切さに改めて気づきました。

クロアチアオープンは、団体戦3位、ダブルス3位、シングルスベスト16という結果でした。ダブルスとシングルスはどちらも中国選手に負けてしまい、少し差があると感じました。団体戦は、ルーマニアに負けてしまいました。体力不足もあり、集中力が切れてしまい戦術がまとまらなかったです。予選リーグのロシア戦は、海外ならではの雰囲気の中で、全試合が接戦だったのですが、最後まで我慢して試合が出来たので、成長出来た試合でした。中国選手との差で1番大きく感じたのは、台上処理とハーフロングに対するフォアドライブです。少しでも台から出ると、打点を落とさずフォアドライブしてくるのでやりずらかったです。台上はとても手堅く、ほとんど低くきたので先手を取りずらく、自分のリズムで試合を進めることが出来ませんでした。

私が今大会を通じて得た課題は、サーブの種類の増加とハーフロングに対するフォアドライブです。サーブの種類の増加は、どんな状況でも勝てるようにする為に引き出しを増やしたいと思いました。ハーフロングに対するフォアドライブは中国選手を見習いたいです。今回、様々な国の選手と試合をすることが出来て、とても良い経験になりました。